

地区社協だより VOL. 66

もりやま



唐比 ハス園

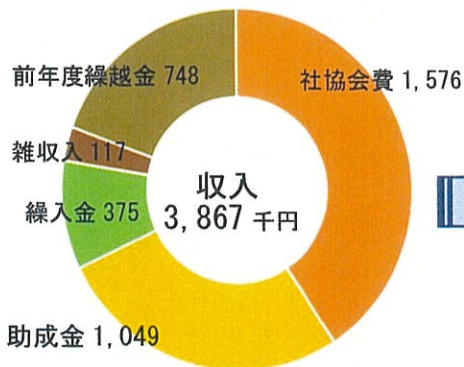
令和5年7月14日 森山地区社会福祉協議会
TEL. 0957-36-0889 FAX. 0957-36-3735

森山地区社協は皆様の支えで運営されています

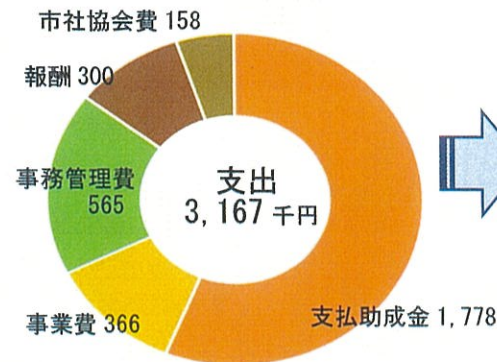
～令和5年度森山地区社協総会ご報告～

森山地区社協の会員は、森山地区自治会に加入されている皆様です。5月19日に令和5年度総会を開催しましたので、その結果をご報告いたします。

1. 令和4年度収支決算報告



- ・社協会費：森山地区会員皆様からの会費
- ・受入助成金：諫早市社協からの助成金
- ・繰入金：特別会計（寄付金）からの繰入れ
- ・雑収入：コピー利用代等
- ・前年度繰越金：令和3年度からの繰越金



- ・支払助成金：自治会敬老会、サロン、老人福祉大会助成
- ・事業費：高齢者への新米・餅贈呈、金婚夫婦表彰地域福祉セミナー等
- ・事務管理費：コピー機使用料、事務用品、切手代など
- ・報酬：会長、事務局長報酬
- ・市社協会費：市社協への会費

収入	支出	翌年度繰越金
3,867 千円	-3,167 千円	=700 千円

2. 森山地区社会福祉協議会役員が選任されました。よろしくお願いいたします。

役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名	役職	氏名
会長	山口 公德	理事	秀島 公一郎	評議員	早田 君枝	評議員	西山 廣之
副会長	鳥越 忠則	〃	佐藤 哲雄	〃	田中 悦子	〃	釜崎 弘美
理事	江嶋 美代子	〃	前田 俊彦	〃	平山 幸子	〃	陣野 寿美子
〃	西村 清貴	〃	松山 南江	〃	向井 妙子	〃	志田 哲也
〃	田中 克史	〃	松本 光昭	〃	松尾 憲治	〃	黒田 茂
〃	土井口隆信	監事	林田 孝平	〃	森 満秋	〃	岸川 拓郎
〃	水頭 哲郎	〃	早田 昭夫	〃	野田 満孝	〃	江島 みどり
					事務局長	谷口 幸一	

3. 総会記念講演

総会では、森山地区で頻発しているイノシシ問題をテーマに記念講演を行いました。イノシシは、臆病な性格ながら大胆不敵な行動を行うため、農作物被害は後を絶ちません。その原因は、イノシシの食べる物が豊富にあり身を隠せる環境があるなど、イノシシにとっては「食と住」が充実していることが一因と考えられます。駆除対策も講じられていますが、最近では、山間部から水田地帯にも出没して農家を悩ませています。

出席者からは、「イノシシの生態が理解できた。農作物を守るには、行政と地域が協力して対策を講じたい」との声がありました。



総会 記念講演

テーマ：「イノシシの生態を知って農作物被害を防止しよう」

講師：長崎県農林部農山村振興課 係長 岩永孝太氏

あの日を忘れない。諫早大水害から66年 ～森山の災害を子供、孫の世代へ語り継ごう～

I. 諫早大水害をふりかえる

あれから66年。昭和32年（1957年）7月25日、諫早地方を襲った未曾有の集中豪雨で、森山村では一夜で53人の尊い生命が失われました。諫早市の死者・行方不明者は630人。森山村は、旧諫早市に次いで多くの犠牲者が出ました。

7月24日、九州南部に停滞していた梅雨前線が九州北部に北上。7月25日午後から「湿舌前線（線状降水帯）」が諫早上空に達し、26日までに年間雨量の半分に達する記録的な豪雨になりました。雲仙市瑞穂町では1日雨量が1,109mm、森山では988.5mmが記録されています。「集中豪雨」の用語は、諫早大水害からとの説もあります。

森山の歴史上、多くの災害が発生していますが人的被害は最大と言えます。



○長崎日日新聞

昭和32年7月26日付

7月26日（金）午前3時30分現在の記事。死者行方不明者3,000名、1万戸流出の報道。通信途絶したなかでの第1報である。

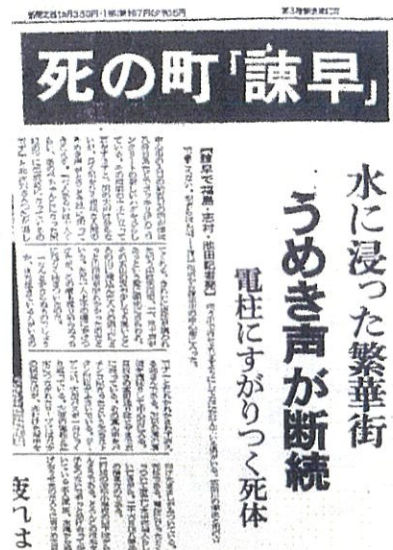
○朝日新聞（東京版）

昭和32年7月26日（金）付 夕刊

東京では、「死の町 諫早」のタイトル

森山の山津波は、7月26日も報道されていない

現場では、新聞・電話等の通信手段も不通であった



II. 森山の被害状況 ～1日雨量 989 ミリの恐怖～

○死者・行方不明者 53 人 (0 歳～88 歳 うち 0～15 歳 23 人) ○重軽傷者 48 人
 ○建物全半壊 661 棟 ○田畑埋没流出 90 畝 ○田畑冠水 760 畝
 ○被害総額 6 億 6,500 万円 ○7.25 森山 1 日雨量 988.5mm 22 時～23 時雨量 116.0mm



7.27 長崎日日新聞
 <<地区別の犠牲者>>

地区	死者・行方不明者(人)
本村	4
田尻	39
杉谷	2
下井牟田	8
計	53

旧諫早市での遭難者5人を含む
 「森山村7.25水害記」より作成

○長崎日日新聞 7月27日(土)
 森山で山津波が発生し、40名が生埋めとの報道。災害発生から3日目に初めての記事
 ○朝日新聞 7月27日(土)(東京版)
 「北高来郡森山村、釜の鼻地区が山津波のためほとんど全滅」と報道

ランドセル
 背負ったまま...
 森山の山津波現場から
 掘出される母子の死体

7.28 長崎日日新聞



7.28 長崎日日新聞 森山村 山津波現場



森山中学校

土石流で埋没した水田
 現在のグラウンド

III. 語り継ごう あの日のできごとを

7月25日午後10時20分頃発生した田尻・釜地区の山津波では、39人の方々が犠牲になりました。釜地区では、毎年7月25日に「水難者慰霊祭」を開催しています。慰霊祭の後、地区集会所では「水害を語る会」を開き、水害体験を語り継ぐ活動を行っています。今年も7月25日午前9時から開催されます。

下井牟田・井手口地区では、二反田川に土石流が発生して氾濫し8人の方々が犠牲になり、下流の水田は土石流で埋没しました。二反田川の畔に慰霊碑が建立されています。



釜地区 水難者慰霊祭



井手口水難者慰霊碑

あの日の惨状を忘れることなく、地域の暮らしを災害から守るうえで災害の教訓を子供、孫たちの世代へ語り継ぐことが大切です。

<<参考文献及び画像出典>>

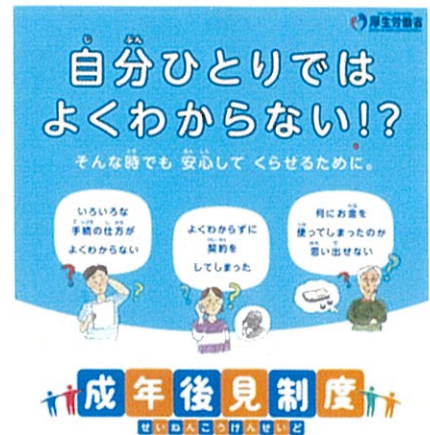
- ①森山村7.25水害記(S33 森山村教育委員会) ②諫早水害誌(S38 諫早市教育委員会)
- ③森山町郷土誌(S59 森山町) ④諫早水害 日本の特徴的水害の実態と対策(S33 九州治山協会)
- ⑤長崎県災異誌(S40 長崎海洋気象台) ⑥諫早水害に関する調査(S34 科学技術庁)
- ⑦長崎日日新聞保存版⑧朝日新聞データ⑨諫早大水害から60年(H30 諫早市) ⑩長崎県の災害史(H18 長崎地盤研究会 九州橋梁・構造工学研究会) ⑪あべまき(S32 森山西小学校文集)

認知症や加齢により一人で決めることが心配になったときには

～第1回地域福祉セミナーで成年後見人制度を学ぶ～

「2025年には5人に1人が認知症になる時代」（厚生労働省）」とされています。本人や家族が認知症になった場合、預貯金や財産管理、相続などでさまざまな課題が発生しています。

4月28日に開催した地域福祉セミナーでは、中本啓士司法書士が「認知症と成年後見人制度」をテーマに講演を行いました。受講者は、自治会・サロン代表者・社協役員など約50人。受講者アンケートでは「義母を介護しましたが、果たして自分が当事者になったとき、どうなるか考えさせられました」との意見もありました。法律的な内容でしたが、取引や契約等で不安のある方をサポートする制度として理解されました。



地区社協の出前介護相談会を開催中 ～お気軽にご相談ください～

森山地区社協は、前年度から社会福祉法人 清和福祉会の協力で月1回無料介護相談会を開催しています。しかし、「地区社協までの交通手段がない」「日程・時間が合わない」などの意見を受けて、今年度から「出前介護相談会」を実施することにしました。

少人数での相談会では、介護や介護保険・老人福祉施設に関するお尋ねや相談があります。また、簡単なレクリエーションも交えて、楽しいひとときとなっています。介護の問題は、本人がその立場にならないと考えない傾向にあります。相談会では、どんなことでも、聞きたいこと、知っておきたいことを気軽に相談できます。地区社協までご連絡ください。

＜相談会開催状況・予定＞

期 日	開催場所
6月6日	駅前サロン
6月15日	平石サロン
7月11日	喜集会
7月27日	小原木曜会サロン
8月22日	さくら会
8月23日	巡川公民館サロン
9月14日	千拓サロン

お知らせ

○ひとり暮らし高齢者への森山産新米配付

新米コシヒカリを8月27日（日）に行います。

○金婚夫婦表彰

9月18日（月）敬老の日に行います。昭和48年1月1日～12月31日に結婚された森山在住のご夫婦が対象となります。各自治会長に申し出てください。

「寄付ありがとうございました」

左記の方々からご厚意による寄付金をいただきました

寄付金は、自治会福祉活動助成等、森山地域の福祉事業に大切に使用させていただきます。

令和5年4月1日～6月30日受付

《香典返し》

◎本村 馬場 良子様
【亡夫 和俊様】

◎田尻 村井 博則様
【亡母 トキ様】

◎慶師野 岸川 一孝様
【亡母 ハルヨ様】

◎田尻 兼松 兄明様
【亡母 涼子様】

◎下井牟田 樋口 敦見様
(福岡県在住)

◎田尻 眞壁 篤 様
【亡母 ヨシエ様】

◎田尻 眞壁 篤 様
【亡母 サツエ様】

